

ソーシャルメディアの利用について

このリーフレットは、ソーシャルメディアが持つ危険性とその対応策について簡単にまとめております。ソーシャルメディアの特徴を正しく理解いただき、ソーシャルメディアを利用する皆さんにとっての良き道しるべとなることを期待します。

ソーシャルメディア(会員制情報提供サービス)とは
FacebookやTwitterなど、Webサイトに登録した利用者同士が交流することによって、情報が双方向に拡散されていくメディアです。

ソーシャルメディアの特徴

ソーシャルメディアは、不特定多数の人間が利用します

つまり・・・

- 自分が発信した情報を、全く面識のない人が目にする場合がある
- 匿名・偽名だからと安心していても、情報を見た誰かに自分を特定される場合がある
- 1対多、多対多の顔が見えないコミュニケーション故に、発言が誤解されやすい

・・・といったことを意識して利用する必要があります。

ソーシャルメディアの3大リスク

① 相手が信用できるとは限りません

- ・ 有名人などの「なりすまし」や、異性との出会いを求める「サクラ」など、他人の名をかたる人もいます。そういった人から詐欺などの被害に遭う場合があります。

② 情報は瞬時に拡散し消すことができません

- ・ FacebookやTwitterで言うところの「友達」(≡自分の発言の閲覧者)が100人いれば、自分の発言はたちまち100人に広がり、それぞれが100人の友達がいて、それぞれ拡散すれば、1万人に情報が伝わります。
- ・ 意図しない情報を送信してしまい、その情報をひとたび誰かが拡散したり、保存したりしてしまえば、この世からその「意図しない情報」を消し去るのは不可能です。

③ クローズドな世界だと誤解しがちです

- ・ 会員制・登録制で、親類や友人とのコミュニケーションが主体となるなかで、「不特定多数に見られている」という意識をなくしやすいです。
- ・ 親類や友人のあいだでは許される、冗談やわるふざけが、「たまたま見た赤の他人」が気を悪くして攻撃をされたり、思わぬ場所で発言が独り歩きして自分の発言意図と無関係に拡散する場合や、その発言が学校で処分の対象となってしまう場合があります。

ソーシャルメディアを利用する際の基本的な考え方

「思いやり」をもつ

- 画面の向こうには「誰か」がいます。
- ソーシャルメディア上に限りませんが、自分の発言を他人が見たときに、どんな気持ちになるか考えて発言をしましょう。
- ソーシャルメディア上で議論をして、自分と異なる考えの相手に意見を言うときこそ、特に相手への配慮が必要です。
- 公序良俗に反する発言やコメントはすべきではありません。暴力団や反社会的勢力もまた、ターゲットや仲間を求めてソーシャルメディアを利用していることを忘れてはいけません。

「法律・法令」を守る

- 法律・法令に違反すると罰則の対象となります。また、道徳・倫理に反する行為をしないという意識を持ちましょう。
- 未成年に関わらず、飲酒や喫煙をしている様子をソーシャルメディアで発信することは、行為自体が言語道断であることは言うまでもありませんが、たとえ冗談(するフリなど)であっても、冗談で済まなくなる場合もあります。
- 他人の著作物を勝手に投稿したり、ソーシャルメディア上で利用できるように公開したりしてはいけません。ソーシャルメディアに限らず、インターネット上の情報はサイバーポリス(警察)によって監視されています。「犯罪」の疑いがかかった時点で、内定が決まっていた会社から内定取り消しを受けてしまうかもしれません。

「セキュリティ」を意識する

- 望まない人に個人情報やプライバシーが流出しないよう、公開範囲などの設定を限定するなどしましょう。ただし、システムの過信は禁物です。

自分と友達と学校を守るための9つのカード

学校の一構成員であることを意識する

- 自分がそのつもりはなくても「そうはみない」人もいます

プライバシー保護を心掛ける

- 日々の発言や写真1枚から個人を特定する人もいます

秘密は守る

- 機密情報を掲載してはいけません。掲載する情報の著作権も常に意識しましょう

発言する前に一度読み直す

- 発言に誤りや、不適切な発言が無いか確認しましょう

情報拡散にも責任を持つ

- 真偽が不明なものを安易に拡散してはいけません

敵対的な行動をとらない

- 誤りは素直に認め速やかに訂正することも重要です

アカウント情報はしっかり管理する

- 「なりすまし」に利用され、悪用される場合があります

不審なアプリやリンクを利用しない

- 個人情報やアカウント情報を盗み出すものがあります

見知らぬ人の誘いにのらない

- 安易に会うことは非常に危険で、犯罪に巻き込まれることも...

それでもトラブルに巻き込まれたら！

速やかに学校(担任や関係職員)に相談してください。トラブルを放置することで、事態を悪くしてしまうことが多いです。被害が拡大する前に先ずはご相談ください。